

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 27 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は、昨年（2014 年）に比べやや多いものの、高さは概ね 100m 以下で経過しています。

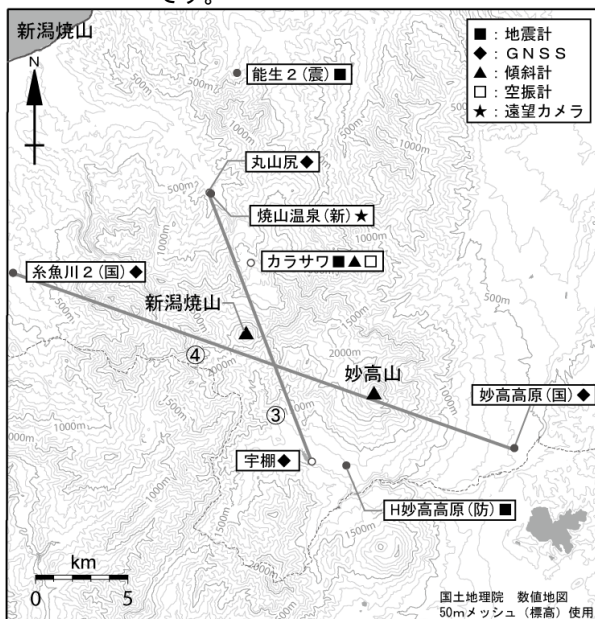
・ 地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

今期間、火山性地震は少なく、火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図

(GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。)



図 2 新潟焼山 山頂部の状況

(10 月 16 日 焼山温泉監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 11 月分）は平成 27 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

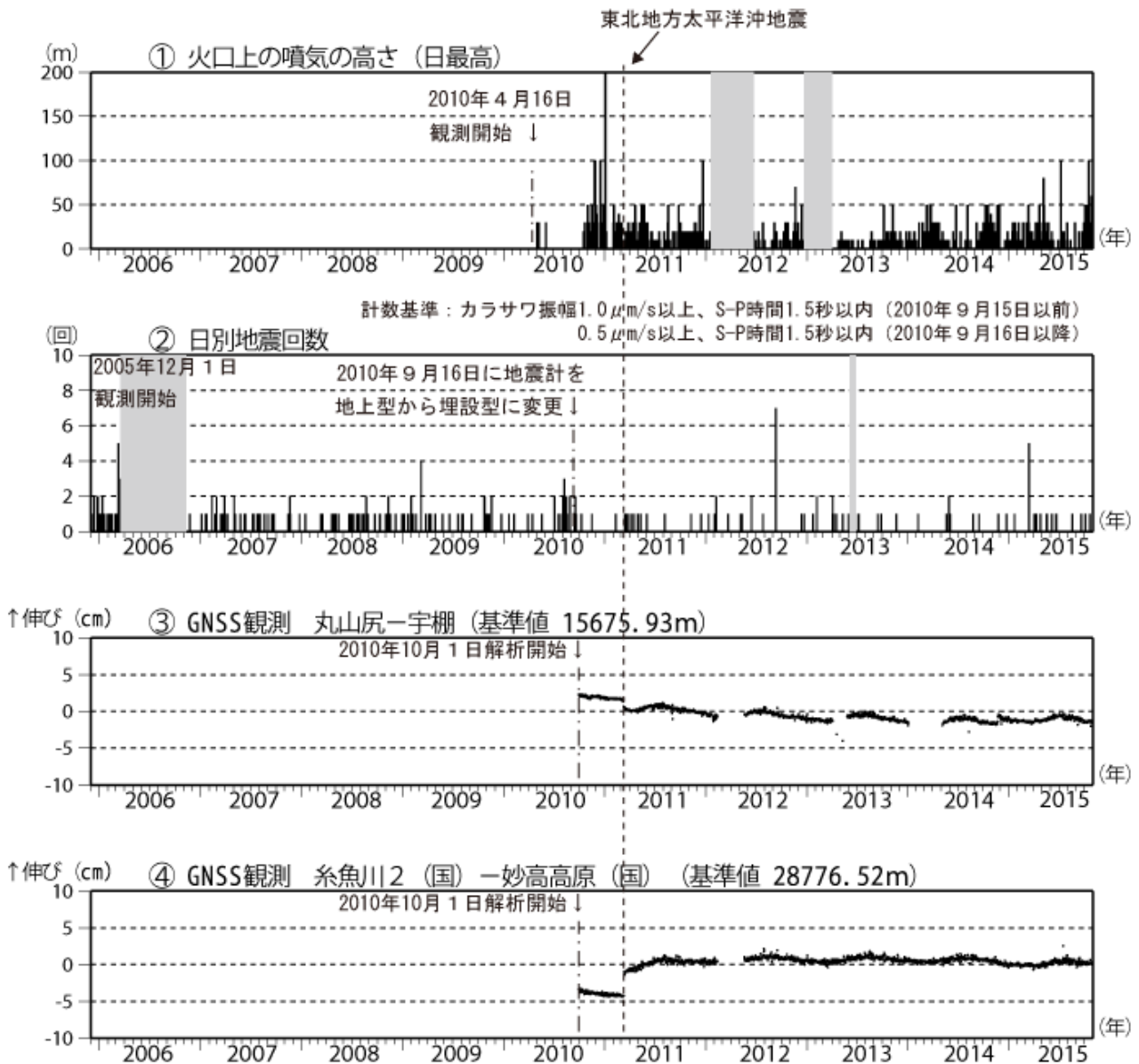


図 3 新潟焼山 火山活動経過図（2005 年 12 月 1 日～2015 年 10 月 31 日）

- ・ 定時観測（09 時・15 時）による日別最高の噴気の高さ
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ GNSS 連続観測結果 (国): 国土地理院
- ・ の基線には、2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図 1 の GNSS 基線 に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

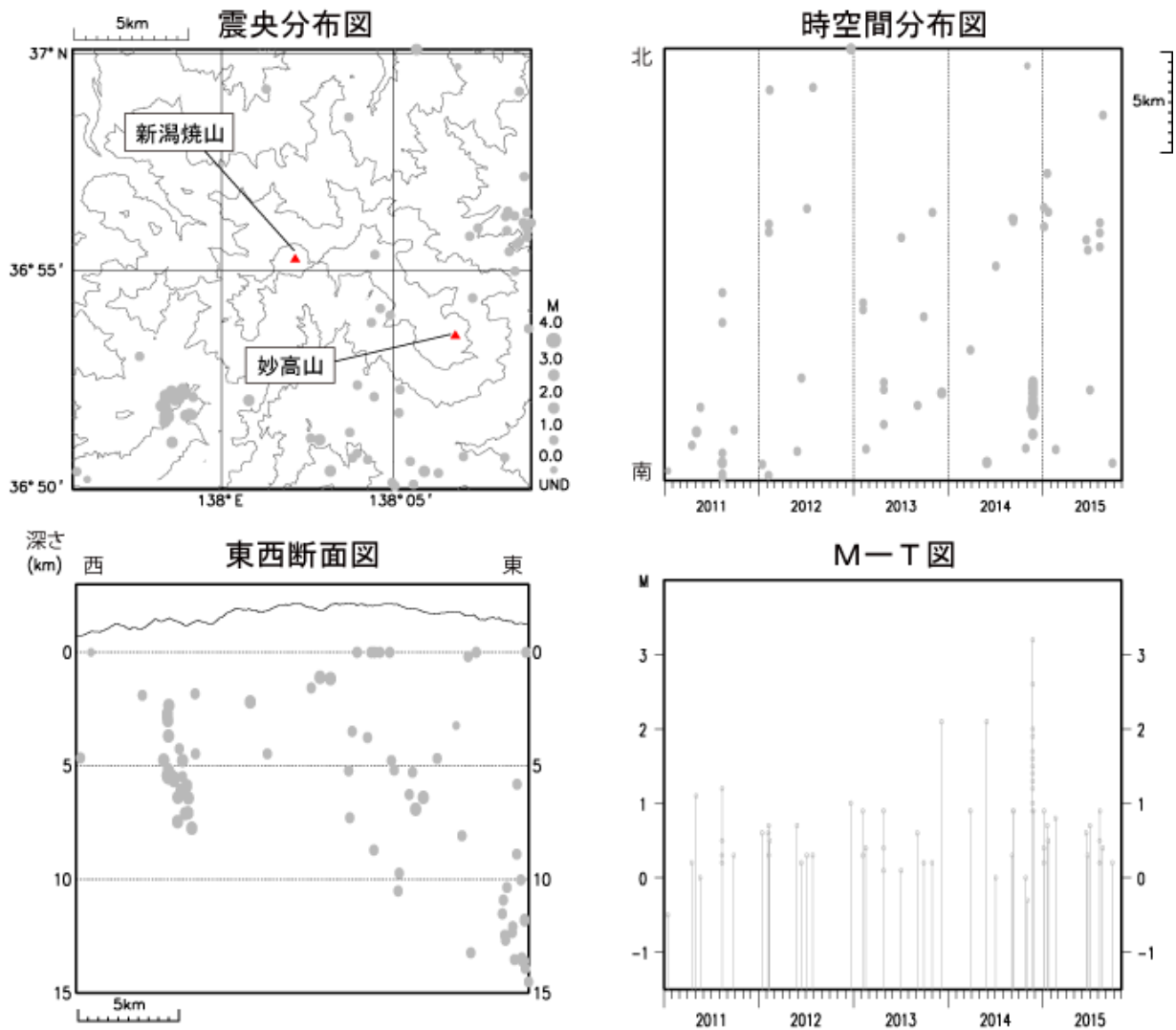


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年1月1日～2015年10月31日）●：2011年1月1日～2015年9月30日 ●：2015年10月1日～10月31日

今期間、新潟焼山付近に震源の求まった地震はありません。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。